

アルツハイマー型認知症治療剤

# ドネペジル塩酸塩錠「JG」を 服用される方及びご家族へ



# アルツハイマー型 認知症とは？

加齢による“もの忘れ”と、  
アルツハイマー型認知症の“もの忘れ”  
は違います。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きの悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）を指します。認知症を引き起こすもっとも多い病気は、アルツハイマー型認知症です。他人の名前を度忘れしたり、友人と会う予定をすっかり忘れるなどのいわゆる加齢による“もの忘れ”は記憶力や集中力の低下、つまり単なる脳の老化が原因です。ところがアルツハイマー型認知症では、2～3分前に電話で話した内容やその相手すら忘れてしまいます。お昼に何を食べたかはもちろん、食べたかどうかさも忘れてしまいます。



加齢による  
“もの忘れ”

アルツハイマー型認知症の  
“もの忘れ”

体験の一部分を忘れる

体験全体を忘れる  
新しい出来事を記憶できない

ヒントを与えられると  
思いだせる

ヒントを与えられても  
思いだせない

時間や場所などは  
正しく認識

時間や場所などの  
認識が混乱

社会生活に支障なし

社会生活に支障あり



# このお薬は

脳内の神経の伝わりを良くし、  
認知機能の改善につなげます。

お薬を服用すると、服用しない場合に比べて、症状の進行を遅らせることが期待できます。

ご本人が今できていることを少しでも長く続けられることや、介護者の方の介護に要する時間を短くすることが期待できます。

## 錠剤

錠3mg



錠5mg



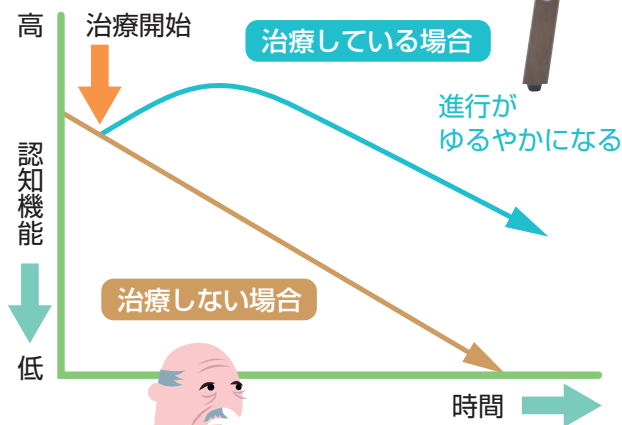
錠10mg



# お薬の効果

認知症の症状の進行を遅らせることが期待できます。

- ◎ 病気そのものを完治させるお薬ではありません。
- ◎ 早い時期から治療を開始すると、症状の進行をより遅らせることが期待できます。



# お薬の服用で 注意すること

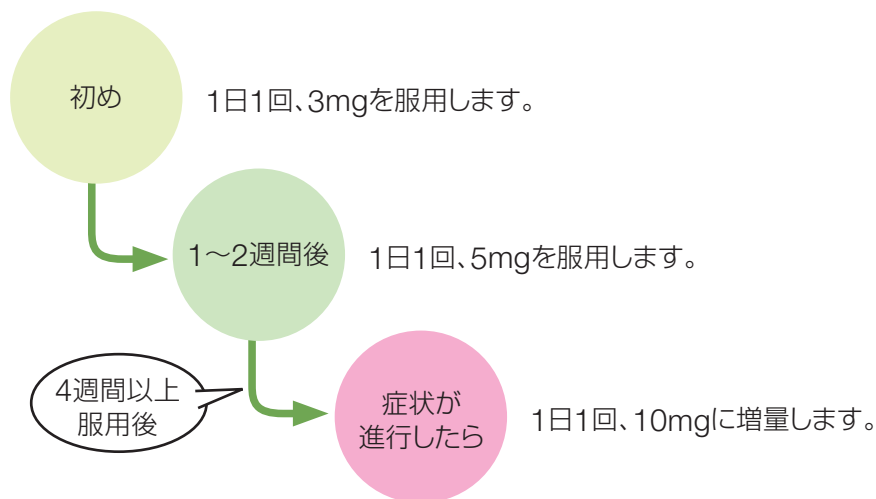
主治医の指示に従って、  
正しく服用しましょう。



このお薬は1日1回服用してください。

食事による影響はありません。

お薬の量は、症状の進行にあわせて変わります。



その日に服用を忘れても、  
次の日に2回分を一度に服用してはいけません。

1日程度飲み忘れても、効果に影響はありません。  
次の日から1回分のみをきちんと服用してください。

自分の判断で、服用を止めないでください。

このお薬は、認知症の症状の進行を遅らせることが期待できます。そのため、お薬を止めると、遅らせていた症状が、治療前の症状と同じ状態になってしまうことがあります。

## 主な副作用

いつもと違う症状が出た場合には、  
すぐに医師、薬剤師にご相談ください。

服用を始めた頃や、お薬の量が増えた頃などに、副作用が見られることがあります。体がお薬に慣れると消えていくこともあります。



軽い吐き気



便がやわらかくなる



活発になりすぎる



イライラして落ち着かなくなる

# 介護のポイント

## 認知症を理解することから 始めましょう。

認知症はその人が身につけた知識や思考・判断が障害された状態です。当たり前の日常生活動作（食べる、排泄する、着替えるなど）がスムーズに行えなくなり、行動に異常を伴ってきます。ご家族（介護者）が認知症患者さんの対応をするのは容易ではなく、そのため、心に余裕を持つことはとても大切です。負担を一人で背負わず周囲の方に協力をお願いするなど、ストレスをためないように工夫しましょう。



安心感



ペースを合わせる

せかさずに見守ることが大切です。



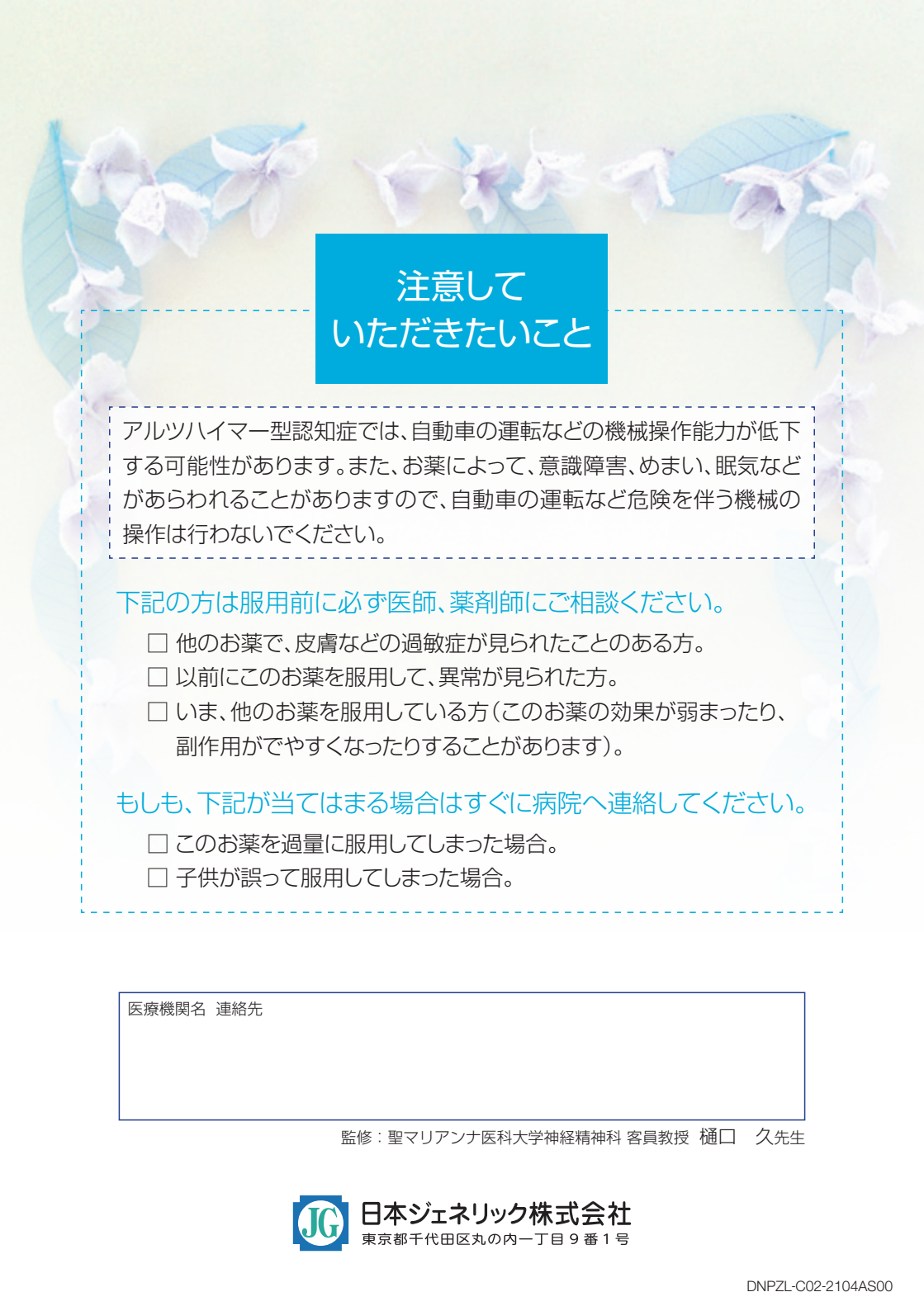
できることを見つける

小さいことでも役割をつくることで  
自信がつき気分が安定します。



否定しない





## 注意して いただきたいこと

アルツハイマー型認知症では、自動車の運転などの機械操作能力が低下する可能性があります。また、お薬によって、意識障害、めまい、眠気などがあらわれることがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないでください。

下記の方は服用前に必ず医師、薬剤師にご相談ください。

- ☐ 他のお薬で、皮膚などの過敏症が見られたことのある方。
- ☐ 以前にこのお薬を服用して、異常が見られた方。
- ☐ いま、他のお薬を服用している方（このお薬の効果が弱まったり、副作用がでやすくなったりすることがあります）。

もしも、下記が当てはまる場合はすぐに病院へ連絡してください。

- ☐ このお薬を過量に服用してしまった場合。
- ☐ 子供が誤って服用してしまった場合。

医療機関名 連絡先

監修：聖マリアンナ医科大学神経精神科 客員教授 樋口 久先生



日本ジェネリック株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号